

地域レベルでの漁況海況情報の提供事業（概要）

海洋資源科 岡村 雄吾

1 目的

水産資源、水産海洋などの研究成果を活用し、沿岸、沖合漁業などに関する調査結果に基づいて予報を行うとともに、漁況海況情報を迅速に収集、処理、通報することにより、海洋生物資源の合理的利用と操業の効率化を図り、海洋生物資源の保存および管理と漁業経営の安定に資する。

2 方法と結果

1) 調査事業

(1) 海洋観測調査（沿岸定線調査）

沿岸定線調査を平成13年4月から平成14年2月まで毎月1回行った。

(2) 沿岸定地水温調査

土佐湾沿岸の7地点（柏島、足摺、清水、田野浦、浦ノ内、室戸、甲浦）において水温の観測を行った。さらに、土佐湾に設置された黒牧10号（室戸沖）、12号（高知沖）、13号（足摺沖）において自動観測された水温データを収集、整理した。

2) 速報作成・通報業務

(1) 漁況聞き取りおよび漁獲統計調査

漁業協同組合（すくも湾、清水、窪津、下ノ加江、大方町、佐賀町、興津、錦浦、宇佐、春野町、手結、安芸、加領郷、室戸、椎名、甲浦）に協力を依頼し、漁獲量を毎週聞き取った。さらに、月別統計資料を収集し、主要魚種別漁況別、主要漁業種類別の漁獲量を整理した。

(2) 漁海況速報の発行

毎週1回、人工衛星情報等から判断した黒潮の流路、沿岸表面水温の分布状況、漁業組合から聞き取った週間の漁獲量、近県（三重県、和歌山県、徳島県、宮崎県）の漁況情報を収集、整理し、漁海況速報として51回発行した。

(3) 海洋観測表および海況図の作成・通報

海洋観測調査により得られた観測結果を海洋観測表としてとりまとめるとともに、水温、塩分、

透明度、流向・流速の水平分布図を作成した。

(4) モジャコ漁期漁海況図の作成・通報

モジャコ漁期（平成13年4月～5月）における黒潮流軸、小蛇行の状況、黒潮域および土佐湾の水温情報を人工衛星海水温情報（平成13モジャコ期臨場号）として16回作成し、関係漁業組合へファックスで通報した。

(5) 黒牧ブイ海況情報テレホンサービスの提供

電話応答装置により黒牧10号、12号、13号での水温、風向、風速、潮向、潮速の情報を提供した。

本年度の当サービスの利用回数は171,495回。

(6) インターネットを利用した高度漁海況システムの提供

黒潮牧場ブイ情報、海水温情報、漁海況情報（漁海況速報、漁況の概況、長期予報）、市況情報、気象情報、泊地情報などを掲載したホームページ（ホームページアドレス：<http://www.suisan.to-sa.net-kochi.gr.jp/index.html>）を作成し、定期的に情報を更新した。なお、一部の情報は登録された会員（会員登録は高知県内に在住する個人・法人に限る）に限定して提供している。平成14年3月31日までの会員登録数は141名、本年度の当ホームページへのアクセス回数は55,775回。

3) 予報作成業務

(1) 漁海況長期予報の発行

水産研究所および関係各県による太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報会議で検討した内容を基に、上半期（1～6月）と下半期（7～12月）の漁海況の経過を整理し、次半期の予想を行った。作成した長期予報は関係機関に郵送し、ホームページ（高知県漁海況システム）に掲載し公表した。

なお、海洋観測、沿岸定地水温の調査結果、漁海況速報、漁獲統計については、平成13年度漁況・海況予報事業報告書に示した。